

学芸活動 ARTS AND SCIENCES

本校では「生徒による自発的、自治的な活動を通して、個性や自主性の伸長を図るとともに、趣味や特技などを通して毎日の生活を豊かで潤いのあるものにしていこうとする意欲をもたせる」ことを目標に学芸活動に力を入れています。校内では、主に5つ（校内弁論大会・附中作品展・文化祭・校内書き初め展・「いずみ」）の学芸的行事を行い、豊かな情操を培うとともに、文化的で創造的な校風の向上を図っています。



校外の各種作文・作品コンクールでも多数入選しています。

主な活動実績（平成28年度）

- 少年の主張群馬県大会 優秀賞
- 国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト 日本放送協会会長賞
- 全日本中学生水の作文コンクール全国審査 国土交通大臣賞
- 税についての作文 国税庁長官賞 群馬県知事賞
- 群馬教育書道展条幅の部 群馬県書道協会賞
- 岩宿文化研究奨励賞第14回学生部門 努力賞
- 科学の甲子園ジュニア群馬県大会 第3位
- 「私の住みたいまち」絵画展 金賞
- ぐんまこどもの夢大賞絵画中学高校の部 奨励賞
- 全国中学生創造ものづくり教育フェア群馬県大会おべんとうコンクール 優秀賞
- 全国中学生創造ものづくり教育フェア群馬県大会豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール 最優秀賞
- 前橋市発明考案展発明協会 群馬県知事賞 日本弁理士協会会長奨励賞
- 群馬県創意くふう作品展 関東経済産業局長奨励賞



卒業生からのメッセージ GRADUATES MESSAGE



群馬大学医学部医学科
松本 昂樹さん

附属中の良いところは、普段から勉強に取り組んでいる生徒が多いところです。周囲の勉強に対する意欲、向上心が高いので、普段から勉強に取り組む習慣を身につけやすい環境となっています。先生方もそれを助長するように熱心に教えてくださるため、中学だけでなく高校、大学でより内容が難しくなっても、勉強に積極的に取り組む基盤を形成するには非常に適しています。また、私は柔道部主任として部員と切磋琢磨し、高め合った日々は確実に学校生活を充実したものにしていました。それだけでなく、向上心を刺激し、それが部活動以外の局面でも生きています。中学での経験が生かされていると直接感じることは少ないかもしれませんが、しかし、少なくとも今私が群馬大学医学部医学科で充実した大学生活ができてるのは、附属中で過ごした日々が土台となっているためだと確信しています。



早稲田大学本庄高等学院
高橋 佑瑠さん

附属中の学習では、学友同士で互いの苦手な部分を教え合いました。受験期では、先生方が真摯に指導して下さいました。また学校生活では、3年間所属していた体育委員で、体育大会だけでなく普通の体育の授業から率先して仕事を行うことで、自然と学校に貢献するために行動するようになっていました。さらに部活動では、私は陸上部と駅伝部に所属していました。中でも自身が3年生の時に主任を務めた駅伝部の思い出が、現在の早稲田大学本庄高等学院の学校生活でも私のパワーとなっています。私の将来の夢である教育の仕事のきっかけを附属中でつかむことができました。

入試日程 ADMISSIONS SCHEDULE

※平成29年6月現在の予定です。日程は変更になる場合がありますので、公示等で必ず確認してください。

附中入試公示

- 平成29年9月29日(金)

附中入試願書配布

- 平成29年11月1日(水)～11月20日(月)

オープンスクール(学校公開・入試説明会)

- 平成29年11月12日(日)

平成30年度入学者選抜検査

- 1次選考 平成29年12月9日(土)
- 2次選考 平成30年1月27日(土)
- 合格発表 平成30年1月29日(月)

合格者説明会

- 平成30年1月29日(月)

平成30年度から募集人員が30名程度に増えます。
(附属小学校からの進学者を除く)

よくあるご質問 FAQ

学習について

Q 宿題・小テストは多いですか？

本校では、「課題プリント」と呼ばれる1日20分程度の課題が毎日出されます。小テストは各教科、必要に応じて実施しています。定期テストは他の公立中学校と同じなので、特別に負担が増えることはありません。

Q 補習はありますか？

学年や時期によって変わりますが、朝や昼休み、放課後の時間に補習が行われています。特に定期テスト前では先生に質問ができる時間が確保されています。また、授業後や休み時間に進んで質問する生徒もいます。



学校生活について

Q 生徒の通学時間はどれくらいですか？

本校生徒の通学時間は平均20分程度ですが、1時間かけて通ってくる生徒もいます。前橋市だけでなく高崎市や伊勢崎市など、全県から生徒が通学しています。

Q 自転車で通学できますか？

本校には、全校生徒の自転車が駐輪できる場所が確保されています。自転車通学禁止区域はありません。学校での安全教育に加え、職員による交通パトロールも定期的に行っていますので生徒は安全に登校できます。



その他

Q クラス分けはどうなりますか？

附属小から入学する生徒と入試で合格した生徒は初めから同じクラスになります。1年生の最初に「オリエンテーション期間（附属中の生活や学習について説明）」があります。安心して中学校のスタートを切ることができます。

Q お昼はどうしていますか？

本校は給食がありません。そのため生徒はお弁当を持参します。年に1度「自分で作るお弁当の日」が設定され、生徒は自分でお弁当の準備をします。また、おいしいパンを販売しているので、昼食前に購入することもできます。



学校生活 SCHOOL LIFE

守衛さん

守衛さんが登下校時も、授業中も、生徒をしっかり見守っています。来校者の受付も守衛さんが管理しています。



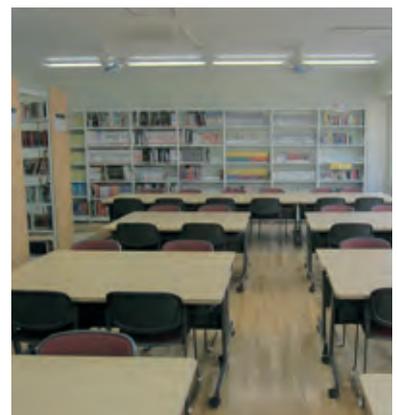
カウンセラーの先生

3名のカウンセラーが日替わりで来校し、気軽に相談できる場所を用意しています。生徒も保護者も自由に相談できます。



学校図書館

1冊ずつフィルムで装丁されたきれいな本が置かれています。文学はもちろんノンフィクションも多数蔵書されています。



施設紹介 FACILITIES INTRODUCTION



15

オープンスクールの様子 STATE OF THE OPEN SCHOOL

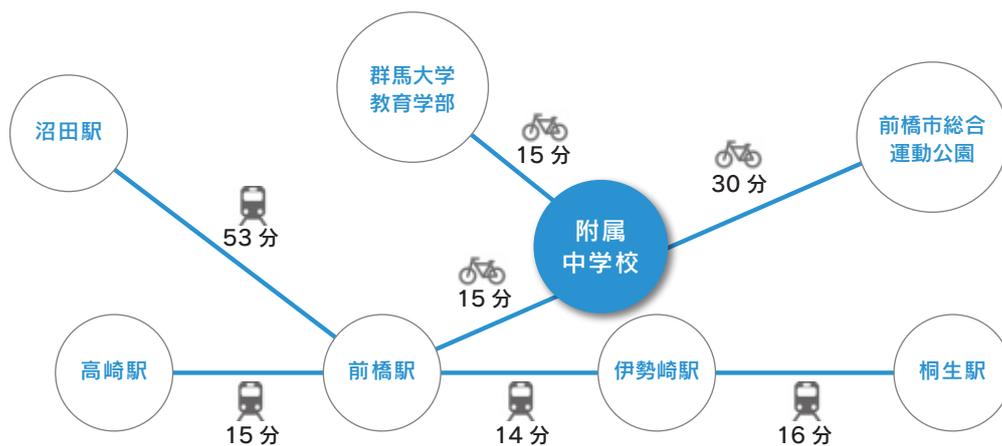


理科室での公開授業の様子



生徒による学校紹介の様子

交通アクセス



募集人員：20人程度→30人程度（群馬県内から） ※詳しくは募集要項をご覧ください。



群馬大学教育学部 附属中学校
Junior High School Affiliated with Gunma University School of Education

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町 612 番地
TEL. 027-231-4651 FAX. 027-231-3164

<http://jhs.edu.gunma-u.ac.jp/>



国立大学法人 群馬大学
NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
GUNMA UNIVERSITY